

# 株式会社 東亜

## DX宣言書

2024年12月13日  
株式会社 東亜  
代表取締役社長 小島 孝之

### □ 経営理念

「思い遣る」

私たちは、人の心＝「思い遣り」を第一義に想い続け、この心を基盤に社員、顧客、地域社会と共に成長し、豊かな未来を創造します

### □ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 業務プロセスをデジタル技術で最適化し、各部署間の連携を強化することで、全社的な業務効率化を実現します
- ◆ 社内に蓄積されたデータを活用し、顧客一人一人に最適な提案を行うことで、顧客満足度を向上させます

### □ DX戦略・施策

#### ➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年4月)

戦略 「業務効率化と情報管理強化を目指した、全社的なIT利活用計画の策定」

- 施策
- ・ 営業部・システム部にて現在の顧客管理方法を分析・評価し、課題を抽出
  - ・ 抽出した課題を基に、顧客情報のデータベース化に向けた要件の具体化、および計画を策定
  - ・ 見積書作成から請求書発行までの流れを、一連の作業で実施するシステム構築計画を策定
  - ・ 社員のスキルアップを図るため、ITリテラシー測定を行い、その結果に基づいたレベル別のオンライン研修の開催、および資格取得の支援を実施

#### ➤ フェーズ2(2025年5月 ～ 2026年5月)

戦略 「クラウドや生成AIの活用による、更なる業務効率化の推進」

- 施策
- ・ フェーズ1にて策定した2つの計画を実行
  - ・ セキュリティ対策を加味した上で、社員が場所を問わずデータにアクセスできるよう、社内データ等のクラウド移行を検討・実施
  - ・ 各部署にて生成AIを活用した業務効率化計画を策定し、実行
- 【生成AIの例】
- システム部：プログラムコードの自動生成、プログラムコードのレビュー支援
  - 営業部：顧客へのフォローアップメールの自動生成、チャットボットの導入

#### ➤ フェーズ3(2026年6月 ～ 2027年12月)

戦略 「組織全体の競争力を高め、持続的な成長を実現」

- 施策
- ・ 各部署が持つノウハウを全社的に共有するため、ノウハウの電子マニュアル化等を検討
  - ・ データ化した顧客情報を基に、AIを活用しながら個々の顧客ニーズに応じた商品・サービスの提案を実施
  - ・ デジタル技術を活用した新たなサービス創出を検討

### □ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

### □ DX推進目標

- ・ 社員へのITリテラシー測定の実施 : 1回目…2025年2月  
2回目…2026年2月
- ・ 外部から社内共有データへアクセスできる仕組みの実現 : ～ 2025年6月